

関西経済レポート(2021年9月)

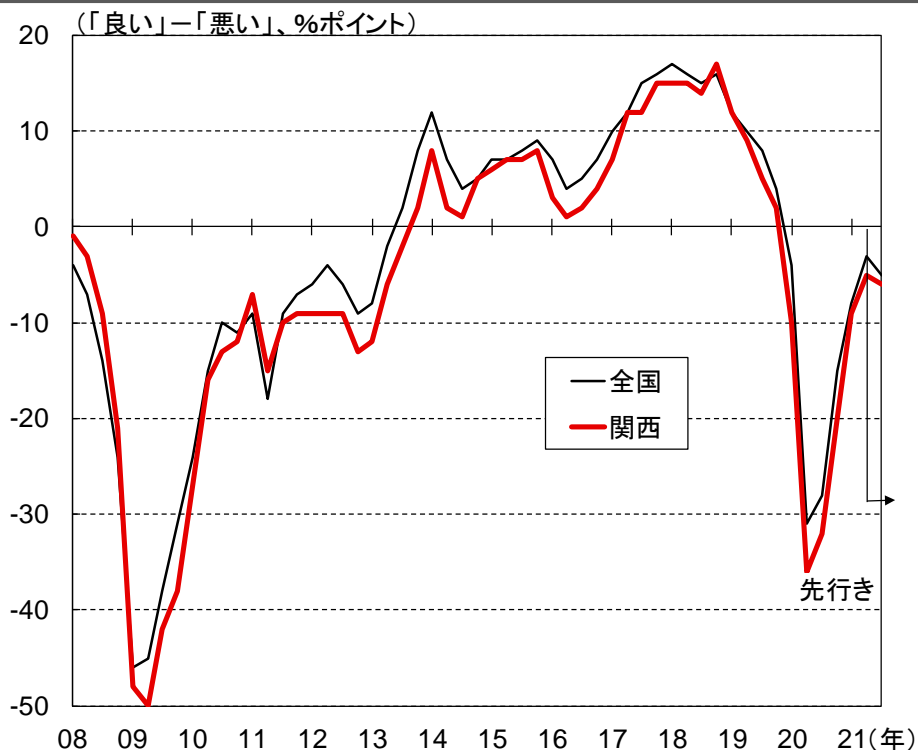
2021年9月28日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(大阪)

概況・景況感

- 関西経済は総じて持ち直し基調にあるが、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県に発出されている緊急事態宣言や、感染に対する警戒感などにより、対面サービスを中心に個人消費が足踏み。
- 足元で新規感染者数は減少傾向にあり、この先、ワクチン効果の顕現による各種制限措置の段階的な解除を受け、景気の回復基調は安定化していくと予想。
- 日銀短観の6月調査における業況判断DIは▲5%ポイントと引き続きマイナスながら、4四半期連続で改善。
- 景気ウォッチャー調査の8月の現状判断DIは36.2、前月比▲13.5ポイントと、同月に発出された緊急事態宣言や天候不順などの影響を受け、4か月ぶりに低下。

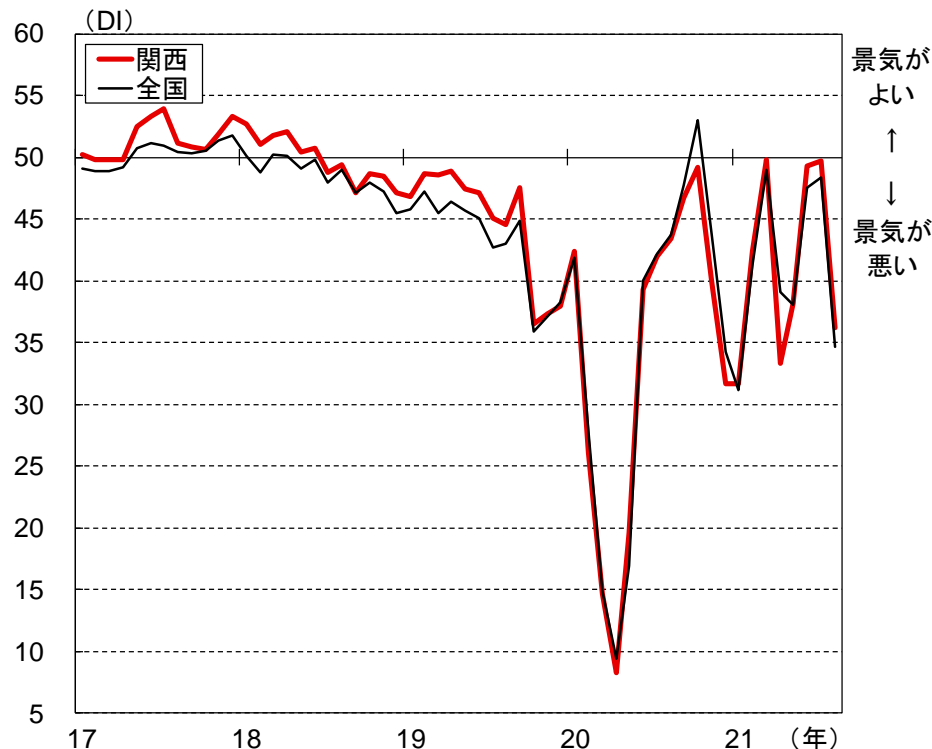
日銀短観(業況判断DI)



(注) 全産業・全規模ベース

(資料) 日本銀行大阪支店統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)

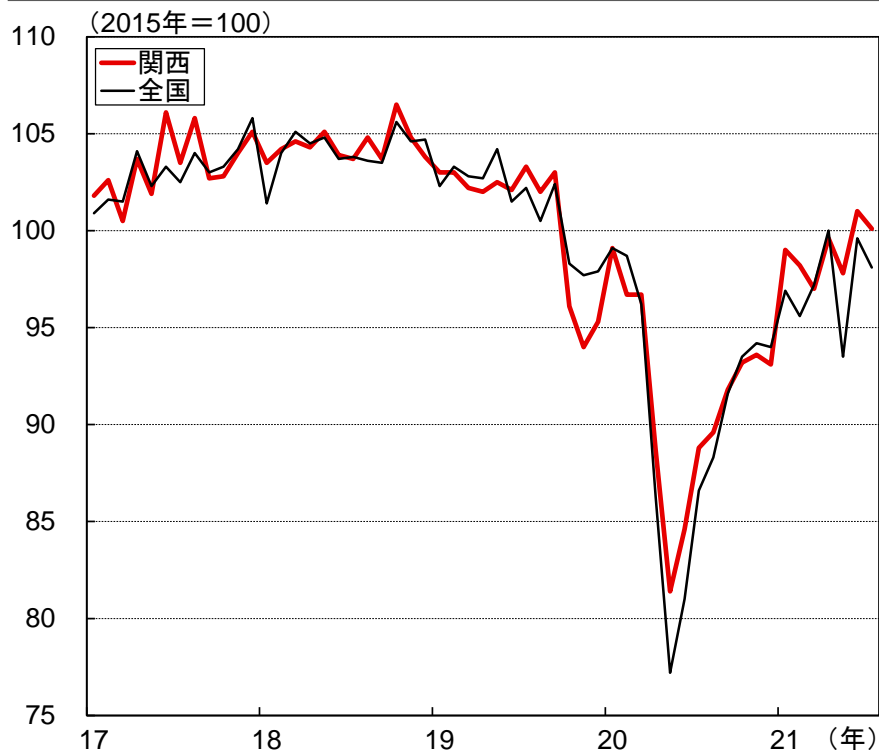


(資料) 内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産

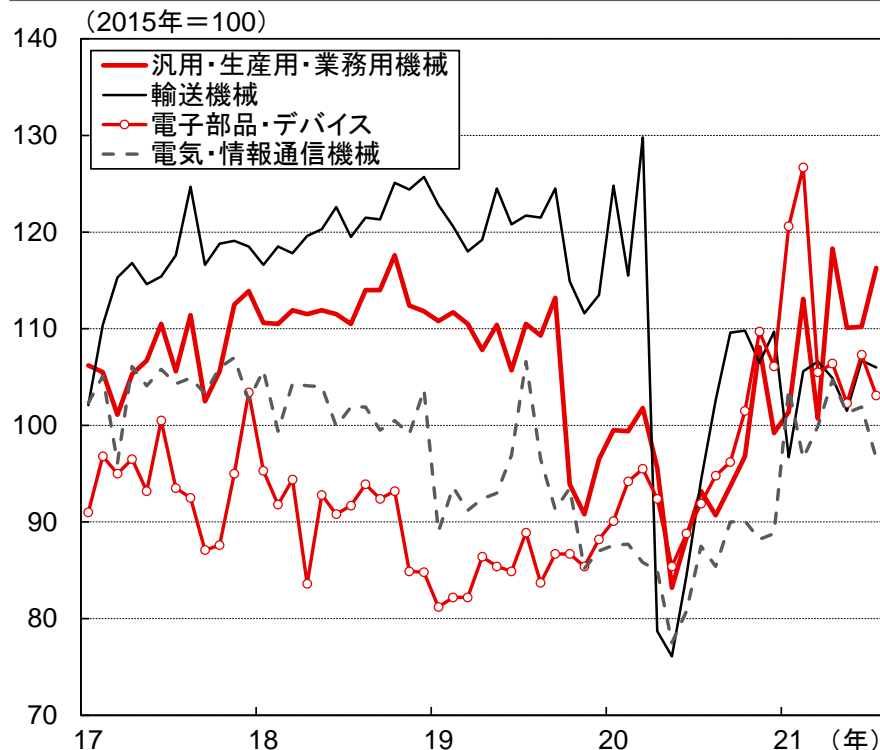
- 7月の鉱工業生産指数は前月比▲1.0%と2カ月ぶりに低下(但し、水準ではコロナ禍直前の2020年2月を+3.5%上回る)。
- 業種別では、設備投資の底堅さを背景に、汎用・生産用・業務用機械が前月比+5.5%と拡大が継続した一方、輸送機械は同▲0.7%、電子部品・デバイスが同▲3.9%、電気・情報通信機械も同▲5.2%とそれぞれ減少。

鉱工業生産指数



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

鉱工業生産指数(業種別、関西)

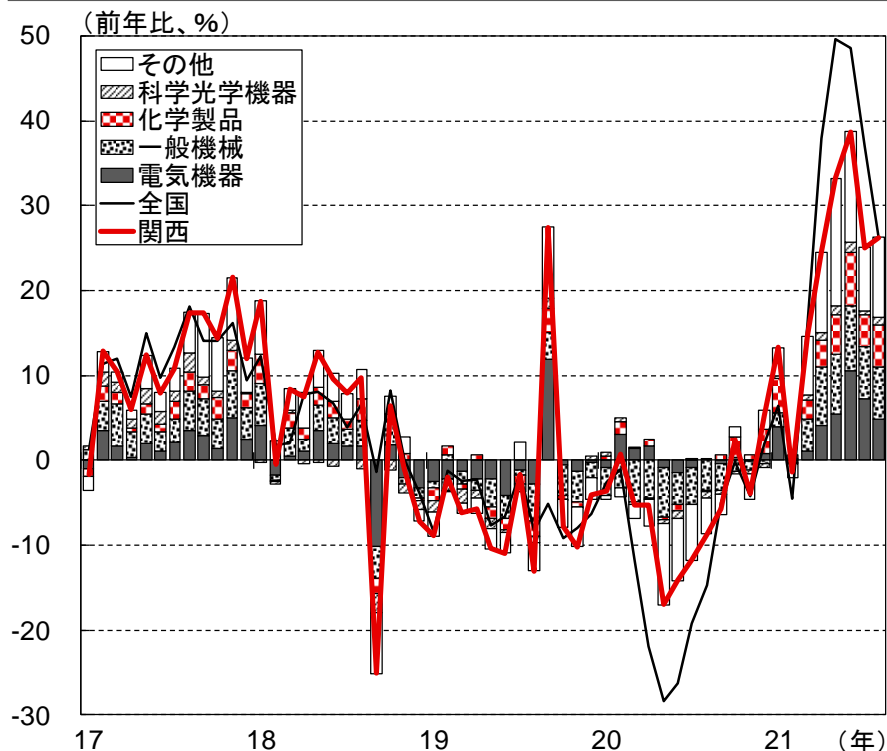


(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出・設備投資

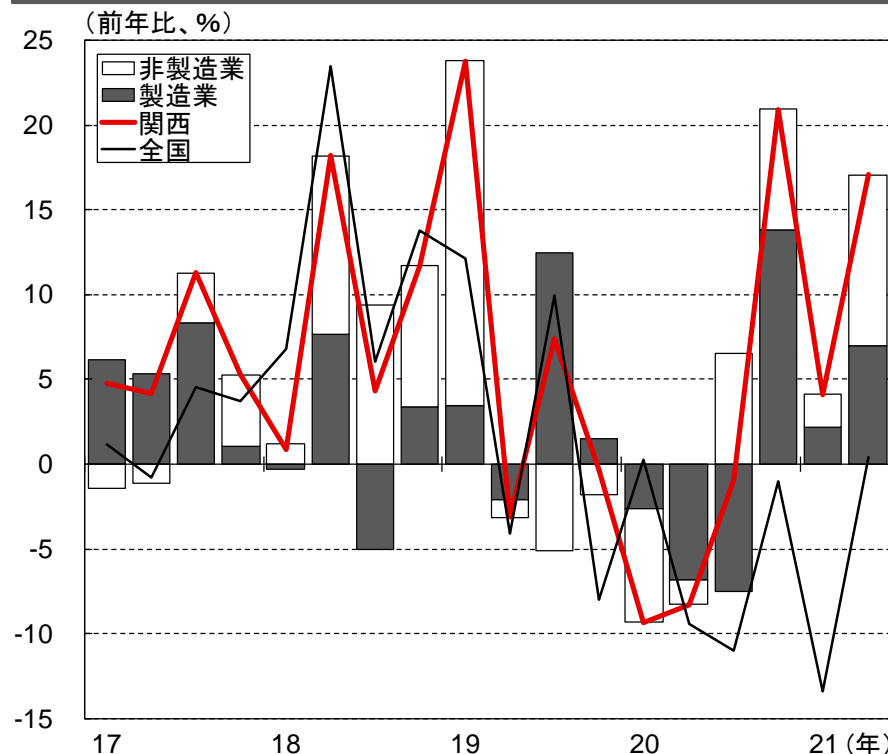
- 8月の輸出額(円ベース)は前年比+26.2%と6カ月連続で二桁の増加、コロナ禍前同月を+15.3%上回る水準。品目別では鉄鋼(前年比+44.1%)や輸送用機器(同+39.9%)、化学製品(同+33.7%)が好調。仕向け地別では、最大シェアを占めるアジア向けの拡大が最も大きく寄与。
- 4-6月期の設備投資額(資本金10億円以上の大企業、含むソフトウェア)は前年比+17.1%と三四半期連続で増加。このうち、製造業は同+14.7%、非製造業も同+19.2%とともに増加。

輸出額(関西)



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資額(大企業、関西)

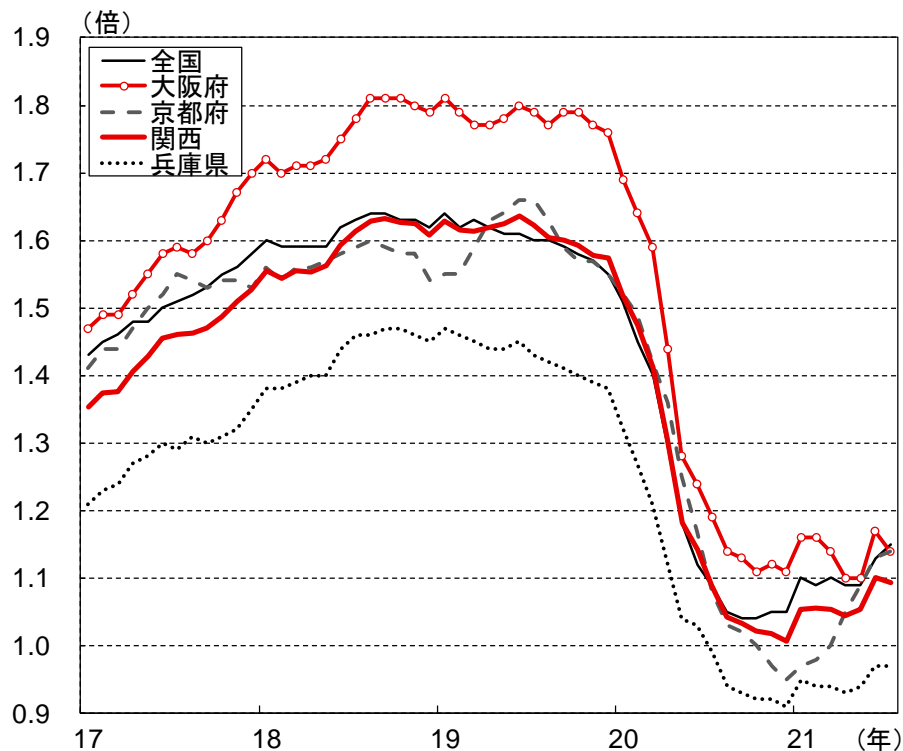


(注)資本金10億円以上、含むソフトウェア
 (資料)近畿財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・個人消費

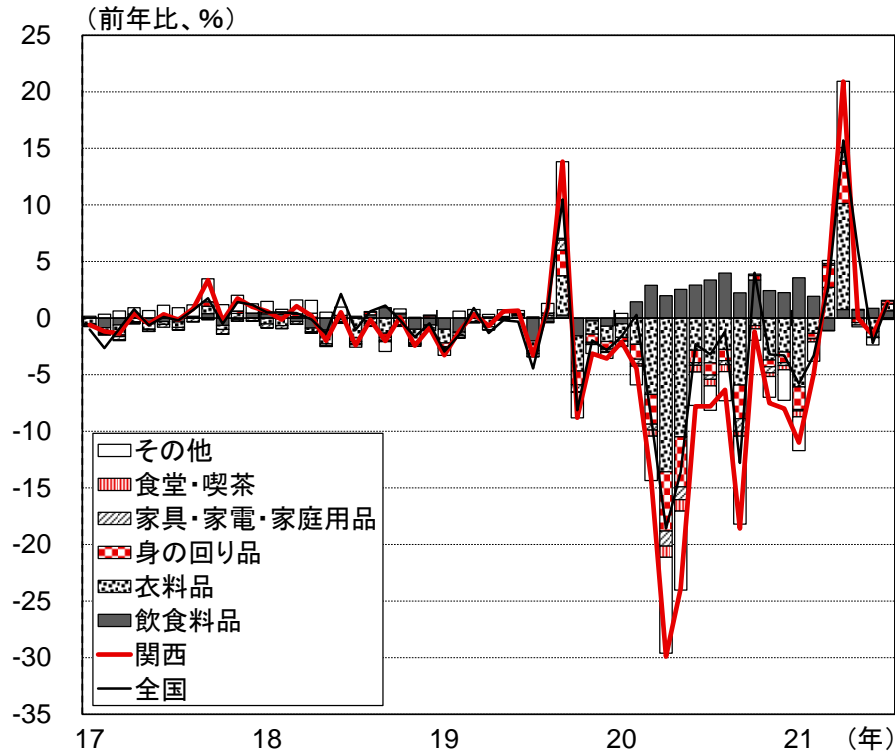
- 7月の有効求人倍率は1.09倍、前月比では▲0.01ポイントと小幅ながら3カ月ぶりに低下。雇用市場におけるウェイトの大きい大阪府は1.14倍、同▲0.03ポイントとなり、2015年11月以来68カ月ぶりに全国を下回った(但し差は0.01ポイントと僅か)。
- 7月の百貨店・スーパー販売額は前年比+1.4%と3カ月ぶりに増加。業態別では、スーパーが同+0.1%、百貨店も同+3.8%とともに増加。品目別では、家具・家電・家庭用品は3カ月連続で減少が続く一方、飲食料品や衣料品、身の回り品等が増加。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

百貨店・スーパー販売額(関西)



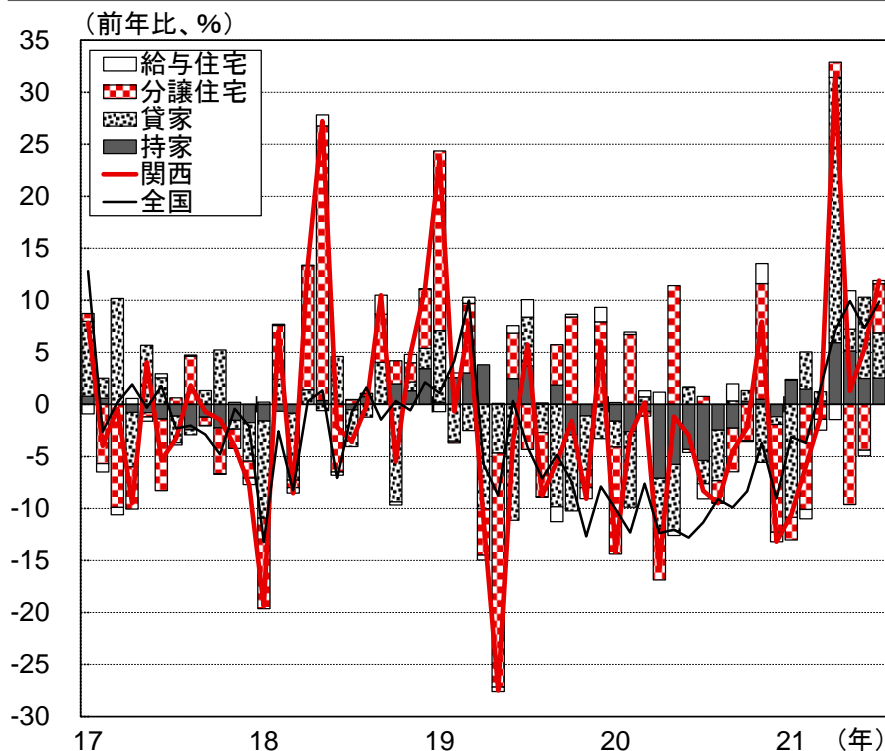
(注)「関西」は福井を含む2府5県

(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅投資・マンション販売

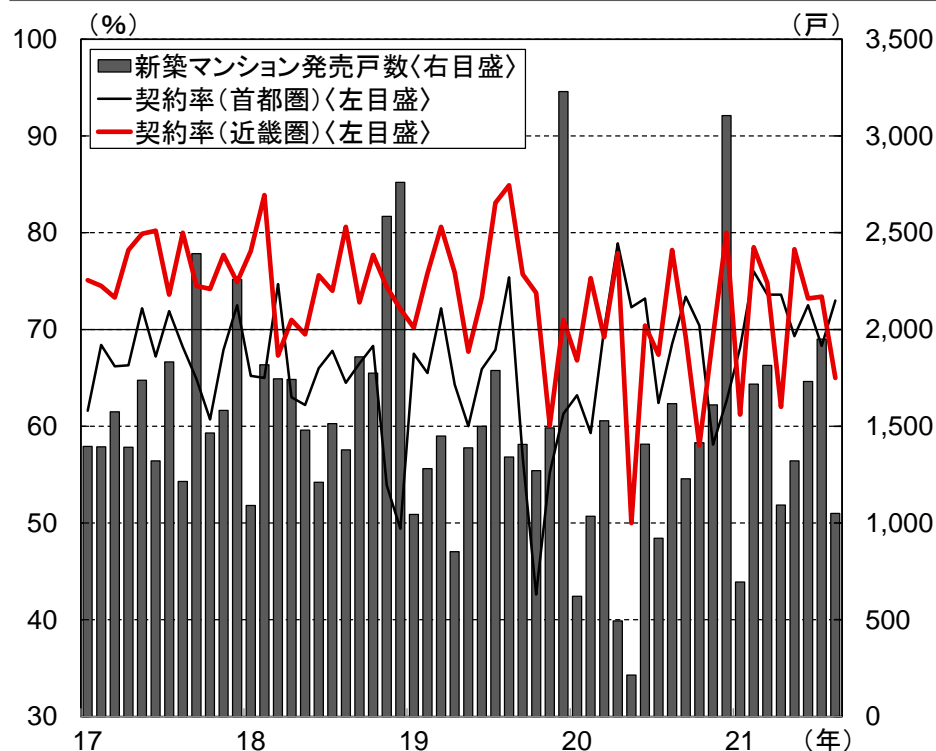
- 7月の新設住宅着工戸数は前年比+11.9%と4カ月連続で増加。用途別では、分譲住宅(同+14.3%)と給与住宅(同+109.1%)が増加に転化、持家(同+10.6%)や貸家(同+10.1%)は増加が継続。
- 8月の新築マンション発売戸数は前年比▲35.1%と8カ月ぶりに減少。契約率は65%と4カ月ぶりに好不調の目安となる70%を下回った。他方、コロナ禍の下で需要の高まっている郊外マンションや、都市部の投資用マンションを中心に、マンション価格は上昇が継続。

新設住宅着工戸数(関西)



(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新築マンション発売戸数と契約率(関西)

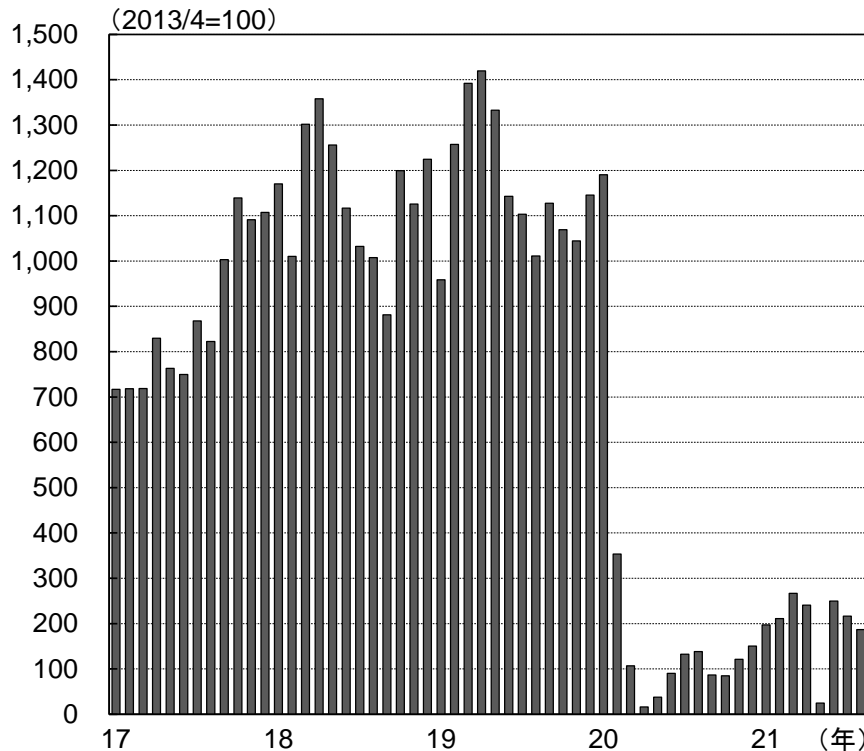


(資料)不動産経済研究所統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

百貨店免税売上高・外国人入国者数

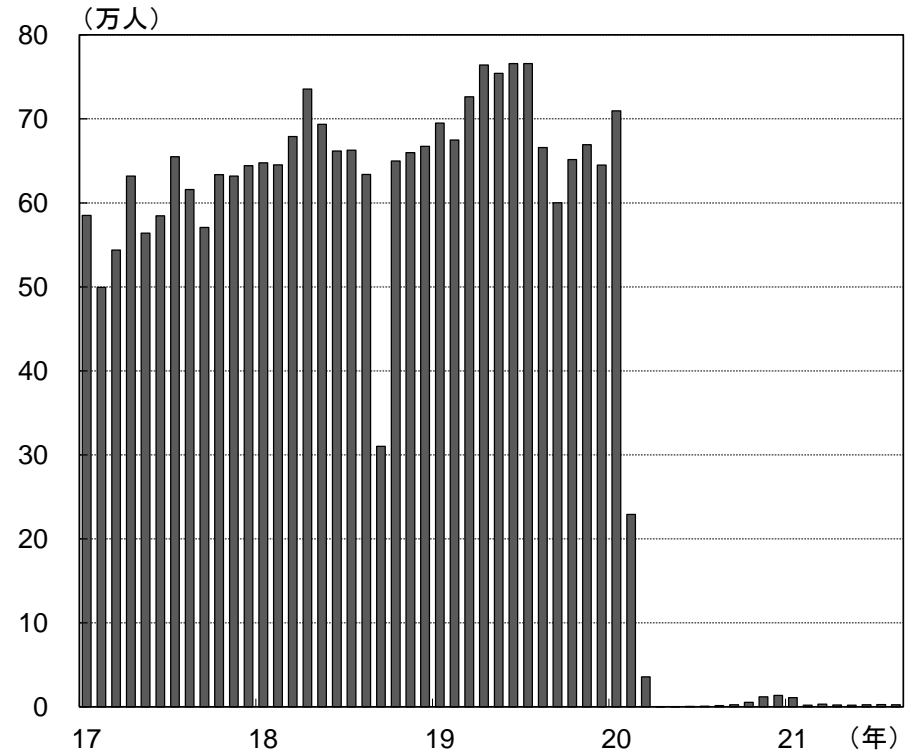
- 8月の百貨店免税売上高は、コロナ禍の影響を強く受けていた前年比では+35.1%と大幅に増加も、水準はコロナ禍前と比べ極めて低い状態が継続。
- 関西国際空港の8月の外国人入国者数は前年比+53.2%と5ヵ月連続で増加も、コロナ禍に伴う入国制限措置により、極めて低水準で推移。

百貨店免税売上高(関西)



(注)「関西」は大阪、京都、神戸の百貨店における消費税免税物品の購入額
 (資料)日本銀行大阪支店及び日本百貨店協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

外国人入国者数(関西国際空港)



(資料)法務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒541-8530 大阪市中央区伏見町3-5-6

照会先：土屋 祐真 e-mail : yuma_tsuchiya@mufg.jp